



# はじめのいっぽ 令和5年度 12月号

令和5年11月30日  
認定こども園  
東野田ちどり保育園  
東野田ちどりキッズ・庁舎内  
江川 永里子

コロナ禍が収束し、多くの行事が戻って来ました。どのような状況においても「感謝」する気持ちが「ありがとう」を生み、更に「ありがとう」を呼んでいきます。

「第42回都島文化のつどい」においても4年ぶりの開催となりました。

ありがたい事に都島区内の保育の中で唯一ゲスト出演というチャンスを頂きました。

そら組・ゆめ組(4歳児・5歳児)の子ども達は大舞台の上に堂々と立ちライトをあびながら演じてくれました。この日に向けて合唱でお客様に感動を届けようと決めて練習をして来ました。

翌日、卒園児の親子から「心にささりました」と言葉を頂く事が出来ました。

子ども達の歌声が誰かに元気や勇気を与える力になった事は何より感動でした。

2023年もあとひと月となりました。126年振りの猛暑を乗り切りました。

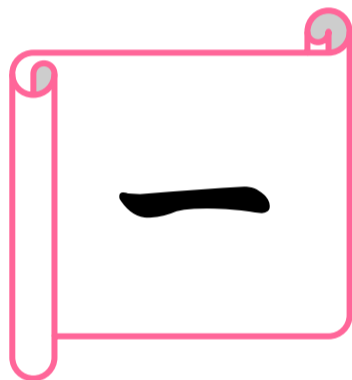
南海トラフに備える為の対策にも力を入れています。



保育園においては、節目の15年が終了します。人は武器がなくとも「言葉」や「文字」で十分傷つきます。特に活字は元気を一杯もらう力もあり、逆に打ちのめされる力もあります。

新しい年2024年に向けて胸を張ってスタートがきれる様に、今年の断捨離をしようと思います。

始まりという意味があり「希望」「望み」という意味があります。悩みを考えているだけではなく、行動を起こそうとする時に、「一」と言う数字を見ることにします。前向きで希望に満ちたエネルギーを持つことです。積み重ねてきた事が形となり芽が出てやっと日の光を浴びたような気持ちです。



ちなみに・・・

H.21年	『魂』	H.22年	『光』
H.23年	『忍』	H.24年	『祈』
H.25年	『力』	H.26年	『真』
H.27年	『活』	H.28年	『恩』
H.29年	『悟』	H.30年	『成』
R.1年	『躍』	R.2年	『心』
R.3年	『命』	R.4年	『善』

でした。

